

第 47 回

# 社会貢献者の記録



公益財団法人  
社会貢献  
支援財団

第 47 回

# 社会貢献者の記録

# 目次

---

|              |     |
|--------------|-----|
| 表彰選考委員プロフィール | 004 |
| 式典次第         | 005 |
| 会長挨拶         | 007 |
| 表彰選考委員長挨拶    | 008 |
| 受賞者代表挨拶      | 010 |
| 記念写真         | 013 |
| 表彰式スナップ写真    | 014 |
| 来賓祝辞・乾杯のご発声  | 022 |
| 祝賀会スナップ写真    | 024 |
| 社会貢献者表彰とは    | 031 |
| 受賞者手記 目次     | 032 |
| 社会貢献の功績      | 035 |
| 資料編          | 138 |

## 表彰選考委員プロフィール

---

委員長



脚本家

### 内館 牧子

東京都教育委員会 教育委員ほか

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラスメント」ほか多数

著書：「終わった人」ほか

委員



元国税庁長官

### 大武 健一郎

関西大学客員教授 認定NPO法人ベトナム簿記普及推進協議会理事長

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道一  
国のかたちをみずえて」ほか多数

委員



久米繊維工業株式会社 取締役会長

### 久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」「NPOのためのIT活用講座効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか

委員



ノンフィクション作家

### 吉永 みち子

「羽鳥慎一モーニングショー」コメンテーター

「あさチャン!サタデー」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

# 式典次第

---

## 第一部 表彰式

10：30…開 式

- ・ 会長挨拶
- ・ 表彰選考委員長挨拶
- ・ 表彰状並びに副賞の贈呈
- ・ 受賞者代表挨拶

12：30…閉 会

## 第二部 祝賀会

12：40…開 宴

- ・ 来賓祝辞 乾杯のご発声

13：30…閉 会

(平成28年11月28日 於帝国ホテル東京)

## 会長挨拶

皆様、本日はお忙しい中、第47回社会貢献者表彰式典にご出席賜り、誠にありがとうございます。

社会貢献支援財団の会長を務めさせていただいております、安倍昭恵でございます。

本日は、三笠宮崇仁親王殿下たかひとが、10月27日に薨去こうきょされたところから、瑤子女王殿下のご臨席が叶いません。ご出席いただいております皆様とともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本日、ここに600名を超える皆さまにご出席いただき表彰式典を開催できますことを大変嬉しく、感謝を申し上げます。

式典の開催にあたり、候補者の方々を推薦いただきました皆様、毎回ご支援を賜っております日本財団はじめ、関係各位に心からお礼申し上げます。

今回の表彰は、国内において困難な状況の中で、社会や人々のために尽くされている方、海や山、川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護に尽くされている方など51件の社会貢献活動の表彰をさせていただきます。

私も、過去に受賞された皆様や、今回表彰された方の活動の現場にお邪魔し、長い時をかけ積み重ねられている活動に敬意と感動をもって拝見させていただいておりますが、世の中には様々な場面で助けを必要とする人がいて、そこに手を差し伸べる皆さまがいることで社会が成り立っているのを実感いたします。本日の式典が、出席者の皆さまはじめ、多くの人々の善意や勇気への働きかけとなり、少しでも明るく住よい社会になっていくことを心から願っております。

皆様方の一層のご活躍とご健勝を祈念致しまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。



公益財団法人 社会貢献支援財団  
会長 安倍昭恵

## 表彰選考委員長挨拶

ただいまご紹介に預かりました内館牧子でございます。

まず真っ先に皆様方に「ありがとうございます」とご挨拶したいと思います。本来は「おめでとうございます」なのですが、皆々様のこのご活動は、皆様ご本人の意志と、それから周囲の方々、そしてご家族の支えが無くてはとてもやっていけないものだろうと思います。ですから、まず、ご活動にかかわったすべての方々に本当にありがとうございますと申し上げます。



本日の感謝の意の対象は、国内における困難な状況の中で、社会や人々のために尽くされた方々、そして、海、山、川など自然環境や絶滅危惧種などの希少生物を保護しようと力を尽くしている方々、及び団体の皆様でございます。

最初は小さな小さな活動だったと思うのですが、それからこの場に立たれるまでの間、どれほどのご苦労とご努力があったかは想像に難くありません。授賞候補にあがる案件がすべてそういうものですから、選考には大変に苦労いたしました。それでも皆で真剣に51件を選びまして、ここにいらして頂いた次第でございます。

社会に貢献するという活動は、何よりも長く続けることが難しいと思われれます。途中でやめていく人たちを前にして、気持ちが萎えてしまうことも多々あったらと思うと思います。また活動をしていますと、必ずと言っていいほど、売名行為だとか、裏で甘い汁を吸っているのだろうとか、そういうことを言う人たちが出てくるものがございます。このいわれのない風評にも萎えることがおありになったかと思えます。でも、長く地道に続けていますと、周囲はやがてわかってくるものです。そして、「手伝おうか?」と言ってくれたりもするものです。

わたくしは、母校の東北大学の相撲部の監督を務めておりますが、就任いたしました10年前は、部員が4名しかおりませんでした。潰されるのを待っているような状況だったのです。4人がわたくしに監督になってほしいと言ってきまして、わたくしは引き受けました。その際、4人に「必ず、ひとり3人ずつ入部候補者を捕まえて来ること」と厳命しました。「義理でもいい、身体なんか小さくてもいい、ちゃんこで釣ってもいい、なんでもいいから道場にひとり3人ずつ連れてきなさい」と言ったのです。そうしましたら、横綱朝青龍と喧嘩したわたくしを、部員たちは怖がったのか一生懸命人を集めました。そして、本当に計12人が連れてこられたのです。12人は東北大学

に入るまで誰も相撲なんかとったこともない学生です。裸にしてまわしを付けさせて、裸足で土俵に立たせました。そうしますと、その経験を初めてしたというだけでムラムラと内なる男の魂が溢れ出てくるらしいのです。こうして、わずか4名だった相撲部が最大26名まで膨れ上がり、いまでも国公立ではトップです。ナンバーワンです。

それで恐らく皆様がやっぴらっしゃる社会貢献というものも、一度手伝ってみると「わたしにこんなことが出来るのだ」とか、ムクムクと内なる人間魂が溢れてくるものではないかと思います。非常に大変だと思いますけれども、どうぞ臆することなく支援の輪を広げることにも努めていただきたいと、願っております。

最後に一つだけお願いがございます。それは本日の副賞なのですが、この副賞のお金はぜひ個人やご家族、関係者、グループの皆様でお好きなようにお使いいただきたいということです。

これは、元選考委員長長の曾野綾子さんが必ず仰っていたことなのです。皆様のことですから、このお金は支援のために使わなければ、と思うかもしれませんが、でもその必要は無いと曾野さんはいつも仰っていました。欲しかったものを買ったり、みんなで旅行に出たり、グループで美味しいものを食べたりして、どうぞお好きなようにお使い頂きたいと思います。それが皆様の明日への活力となるのであれば、財団としてもこれほど嬉しく、力になることはございません。

本日は本当におめでとうございました。そして、ありがとうございました。

公益財団法人 社会貢献支援財団  
表彰選考委員長 内 館 牧 子



## 受賞者代表挨拶

一般社団法人日本聴導犬推進協会、常任理事の水越みゆきと申します。

受賞者を代表いたしまして、ひとことご挨拶とお礼の言葉を述べたいと思います。

本日は、この晴れやかな席で社会貢献者表彰の栄に浴し、心より感謝申し上げます。

私たちの団体は「聴導犬」といわれる、耳の聞こえない方、聞こえにくい方の自立と社会参加の手助けをする身体障がい者補助犬の育成と普及活動を行っています。

盲導犬や介助犬に比べ、まだまだ認知度は低く、社会での受け入れや支援が進んでいないのが現状です。

聴導犬は、日常生活で発生する音からもたらされる情報を聞こえない方に伝えるということがお仕事になりまして、安心な生活が出来るようにしてくれています。

例えば、インターホン、目覚まし時計、火災報知器、後ろから来る自転車、車の音、ユーザーさんと呼ぶ声など、聞こえる私たちが当たり前聞いて判断し行動するように、聞こえない方も聴導犬のサポートを受けながら判断し行動ができるようにしてくれるのです。

本日、会場に実際に働いている聴導犬レオンとそのユーザーさんに来ていただきました。そして、私の足元には来年から聴導犬として仕事を始める候補犬のアーミが来ています。

ここで、簡単ではございますが、この機会に皆様に聴導犬の事を知っていただきたいと思いますので、どのように音を知らせてくれるのか、実際にアーミに行ってもらいたいと思います。

(デモンストレーション)

今日持ってきましたのは、キッチンタイマーです。タイマーの時間をセットして、音が鳴った時に伝えてくれるというのが聴導犬のお仕事ですので、やってもらいたいと思います。

今セットしました。ちょっと離れていますね。音が鳴っても聞こえない方はわかりません。



まず音が鳴りましたので、見に行きました。そして戻ってきて、いまタッチしています。

それで、どこですか？と聞きます。そうすると音の鳴っている方へ、器械の方へ案内してくれて、これだよと鼻でツンツンとタッチしてくれています。この音が鳴るものを見てくれることで、聞こえない方は「この器械から音が鳴っている」と知ることが出来るということです。このような形で音を知らせる仕事をしてくれます。



音を知らせること以外にも、「聴導犬」と書かれたケープを身に付けて社会参加しておりますので、周りから見て分かりにくい「耳が聞こえない」という障がいを、見える障がいに替えてくれることで、周りの人から手助けが受けられるという効果もあります。そのような役割も担いながらこの聴導犬たちはユーザーさんと共に生活しています。

現在、聴導犬は日本全国で64頭（平成29年1月時点で67頭）しかおりません。盲導犬が950頭近くいるのに対し、まだまだ数が少ないということは、認知度も低いということになります。私たちは一頭でも多くの聴導犬を、耳の聞こえない方にお渡しし、そしてたくさんの方に聴導犬を知っていただくことで、聴導犬と聴覚障がい者が社会に出やすい環境づくりをしてゆくこと、そして、全ての人と動物が共生していける社会を目指してこれからも活動を続けて参りたいと思っています。

本日は、この様な晴れやかな席で聴導犬のご紹介をさせていただき、ありがとうございました。

一般社団法人 日本聴導犬推進協会  
常任理事 水 越 みゆき

# 記念写真



## 第47回 社会貢献者表彰式典

公益財団法人社会貢献支援財団

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

- |                                   |                               |                            |                                   |   |                          |                                    |                            |                                    |                              |                                |                     |
|-----------------------------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------|
| 宮代 善司<br>町田市民間文書<br>運営委員会         | 金子 和夫<br>川口自生衛門中<br>学         | 飯島 順二<br>花と万人の会            | 松浦 悦子<br>特定非営利活動法人<br>宮助がれあいの家    | 住田 佳子<br>特定非営利活動法人<br>アレルギーマッチョウ<br>小谷 智恵<br>特定非営利活動法人<br>新沼 鉄也<br>NPO法人<br>ワンファミリー仙台 | 近藤 博子<br>だたんこども療養<br>所   | 松山 雅則<br>特定非営利活動法人<br>日本読書団体連合会    | 田中 三紀子<br>特定非営利活動法人        | 宮嶋 祐介<br>遠魂ペシタマ                    |                              |                                |                     |
| 宮田 浩明<br>クレスト社会福祉法人<br>聖マリアホーム    | 田中 元介<br>特定非営利活動法人<br>チームかくしま | 井本 勝幸<br>特定非営利活動法人         | 田中 幸子<br>大牟田一美                    | 三好 祐也<br>ボクノサボト<br>NPO法人  | 加納 尚明<br>札幌マレンド<br>NPO法人 | 正井 禮子<br>女性と子育てシヤ<br>ワメンネットトラ<br>ズ | 大沼 えり子<br>認定NPO法人<br>ローシェル | 池上 千寿子<br>多田 千賀子<br>国枝 均<br>岐礼せくら会 |                              |                                |                     |
| 松若 貞二<br>社会福祉法人<br>環谷多福形シヤ<br>ン   | 生田 武志<br>社会福祉法人<br>アソツル会      | 上坂 崇人<br>さいもめ              | 矢満田 篤二<br>鈴木 都<br>川島 功<br>新宮山ぐるーぷ | 横溝 高廣<br>福岡すまいの会<br>NPO法人   | 松岡 嘉之<br>大分県上津藩ふる<br>ま会  | 飯岡 智<br>社会福祉法人<br>仙台いの電話           | 秋田 智佳子<br>特定非営利活動法人        | 山下 達己<br>一般社団法人<br>海づの森            | 遠藤 知子<br>特定非営利活動法人<br>理瑛書入レレ | 後藤 暁彦<br>自然科學部生物班<br>環境立役者養成学校 | クワリーメン<br>特定非営利活動法人 |
| 水越みゆき<br>日本読書大推協会<br>水越みゆき<br>アーム | 荒岡 倫子                         | 増澤 秀男<br>ていなんていせい<br>NPO法人 | 矢澤 健司                             | 坂本 雅子<br>特定非営利活動法人<br>SOSの村A&A  | 安倍 昭恵<br>会               | 佐上 邦久<br>公益財団法人<br>どうぶつ基金          | 藤井 二男<br>中川原町連合町会          | 小笠原 孝<br>更生保護法人<br>両館会             | 丹沢 こと子                       | 山田 達夫<br>社会福祉法人<br>太陽の家        | 滝口 仲秋               |

# 表彰式

























## 来賓祝辞・乾杯のご発声

ご紹介賜りました日本財団の笹川でございます。本日、長年のご苦勞が評価されて表彰されました皆様方に、心からお祝いと感謝を申し上げたいと思います。

私は今まで世界128ヵ国も旅を続けておりますが、社会が安定し、美しい国土の中で生活をしている日本人というのは、世界一恵まれた国民だと思っています。講演会などではよく「どこの国が一番いいでしょうか？」と聞かれますが、私の答えは「日本」以外ありません。それは、長い間培われた日本人の、難しい言葉で申せば惻隱の情とでもいうのでしょうか。人を思いやり人に対して優しく接する心。そういう DNA を持ち合わせている日本人の中でも、特に今日表彰された皆様方は、思いを寄せるだけでなく行動に移していらっしゃる。このような皆様方のお陰で、日本という国が穏やかな国民性を持って生活出来ているのではないかと考えております。



日本政府も、皆様方が今おやりになっているようなことに対してさまざまな手当をしようと努力していることはご承知の通りです。しかし、隅々まで行政が手を差し伸べるということは不可能です。そこを皆様方がグラスルーツから行動を起こしていくことによって、行政が気付かないところに気付き、行政はそれを政策に反映していくという形になるわけでした、皆様方が行っている人知れずご苦勞を伴った困難な活動は、必ずや国レベルでも理解され、更に優れた国家を形成するために役立つものと確信しております。

日本は少子高齢化で、日本の先行きはどうかと心配されている方が識者の中にも沢山いらっしゃいますが、日本はその程度のものではありません。長い間の日本民族の歴史の中で、たゆまず努力を続けてきました。

日本は世界一の災害の国です。ニューヨークやロンドンやパリには地震が起こる可能性はゼロです。日本には地震のプレートが四つもあり、台風があり、常に災害に苦しめられてきた歴史がありますが、その災害を糧としてすぐに復旧し、更により良い地域づくりをしてきました。江戸時代、東京は木造建築でした。少し風が吹きますと大火になりますが、三日もたたずして新しい家の槌音が聞こえるということが、当時日本にいた外国人にとって脅威に感じられたという記録がたくさん残されています。日本人はそのような困難から立ち直る素晴らしい復元力をもった国民であると思われ

ていたわけで、実際にそうございました。

今の日本の様々な社会課題の解決については、既にもう皆様方がおやりくださっています。この日本国という大きな船の復元力の原動力を、既に皆様方が示してくださっているのです。これを更に広げることによって、新しい素晴らしい日本の社会を確立し、日本国が更に世界から尊敬され評価される、そういう国になることは間違いがないと私は確信しております。

先般、私どもは「ソーシャルイノベーションフォーラム」というシンポジウムを行いました。社会課題をいかにして解決するかについて30ほどの様々なセッションを行いました。そこに参加した人の大多数は20代、30代の青年でした。皆立派な職業についていましたが、一流企業で働いている自分の生き様を考えた時、「この仕事は何になるのだろう。もう少し社会のために目に見える形で働いてみたい」ということで、多くの優秀な青年が会社を退職して社会のために働きたいと集まって下さいました。こういう方々は、必ずや皆様方のなされてきた仕事に刺激を受けて、グラスルーツから日本を変革していこうという大きな波を起こしてくれると期待しています。そして私たち日本財団は、皆様方と共に汗をかき、素晴らしい、そして世界から尊敬される日本国を作っていきたいと願っています。

社会貢献支援財団の安倍会長は、単にお飾りの会長ではありません。先ほどご覧いただいたビデオのように、表彰された方々の活動を実際のものでご覧になり、外国の方を表彰するについては、現地を訪れてご自分の目で確かめて表彰されています。ですから、今日表彰された方には誇りを持っていただくと同時に仲間を広げて頂き、グラスルーツから日本の社会変革、より良い日本、世界に誇れる日本を創るための礎としてご活躍されることを、心からお願い申し上げたいと思います。

本当におめでとうございました。

皆様方のご活躍をさらに広げて頂くことを願い、多くのご参会の皆様方のご健康、ご長寿を祈念し、ここにお集まりいただいた皆様が一つの核になり新しい日本の社会を創るための礎になることをお互い心に誓い会い、乾杯しましょう。

乾杯！

公益財団法人 日本財団  
会長 笹川陽平